

「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」 研究開発領域 提案書作成の留意点

平成29年度 募集説明会



Japan Science and Technology Agency



安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築
Creating a Safe and Secure Living Environment in the Changing Public and Private Spheres

選考の流れ

提案書受付期限	<u>6月8日(木)正午 <厳守></u>
書類選考	6月～7月
書類選考の結果通知	面接選考会の1週間前までに連絡(予定)
面接選考会	<u>8月2日(水)</u>
面談(採択条件の説明)	8月9日(水)・10日(木)
選考結果の通知・発表	9月中(予定)
研究開発の開始	10月(予定)

※ 受付期限と面接選考会は確定していますが、他の日程は今後変更となることもあります。



H29の募集＝研究開発プロジェクト

- 募集するのは、**研究開発プロジェクト**のみです。
 - 予算規模(直接経費): 1課題 **数百万円から30百万円以下/年**
 - プロジェクトの期間: 原則として**3年以内**
- ※ 採択にあたっては提案内容の一部見直しを条件とする場合があります。
- ※ 目標達成の可能性が低いと判断された場合は期間途中で終了する場合があります。
- 当領域は、H29年度が最後の募集になります。
- 応募は、e-Radにより行っていただきます。(pp.51-66)
- 募集要項の以下を特によく読んでから提案書を作成してください。
 - ✓ 募集・選考にあたっての領域総括の考え方(pp.7,8)
 - ✓ 研究開発領域の目標(p.10)
 - ✓ 選考にあたっての主な評価項目(pp.17,18)
 - ✓ 提案書の記載要領(pp.68-84)

領域目標の達成に資する提案を求めています

- 本領域の目標達成に向けて、「3. 取り組むべき研究開発プロジェクトのテーマ、要素」(pp.10-12)に掲げた3つのアウトプットを目指す研究開発プロジェクトを推進しています。

① 社会システム・制度の創生と伝承

② 配慮が行き届き適切に介入・支援をする社会技術の創出 －公／私協力する「間」の創生－

③ 情報通信技術等の利活用による新たな支援機能の構築

- ①②③は、相互に関連するものであり、最終的には、②を実現することを目指して、①②を組み合わせたり、②③を組み合わせたりする研究開発を期待します。
- 提案が**領域の目標**や**取り組みにどのように貢献しうるのか**を検討しそれがより伝わる記載をお願いします。

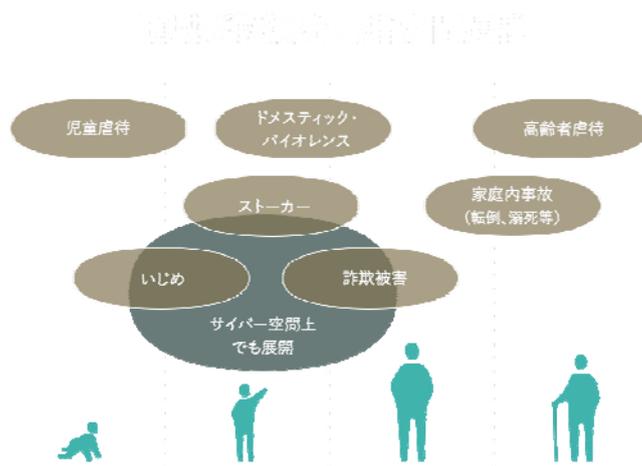
領域ホームページをチェック



領域の取り組みは、HP <http://ristex.ist.go.jp/pp/> で公開しています。

ご覧いただくと領域が求めるプロジェクトのイメージが湧くと思います。

提案書を書く前に、募集要項＋領域HPを、ぜひご覧ください。



表紙 (p.68)

- A4・1ページ。
- すべての項目を漏れなく記入。
- プロジェクト名:副題はつけない。
- 研究開発期間:最長3年間。
- 総研究開発費:直接経費のみで、研究開発期間の総額。

【様式1】要旨 (pp.69,70)

- キーワード: 3~5つ以内、単語
- A4・2ページで全体の構想が伝わるようにまとめてください。

※【様式1】と【様式2】を「全体の要旨」として抜粋し使用する場合があります。

■達成目標: 何をめざすプロジェクトか (400字以内)

- ✓ プロジェクトが **中・長期的に目指す目標**。
- ✓ 上記達成のためにプロジェクト **期間内に達成する目標**。

■構想の概要: 【様式3】(p.72~)の要点

- ✓ どのような問題を扱い、どう解決しようとしているのか。
- ✓ 背景や成果の **社会実装・普及に向けた展望**等。

A4・1ページ

■提案の概念図: 提案内容を図示

- ✓ 「公」と「私」の「間」についてどのように考えているか。

A4・1ページ

【様式1】要旨 (pp.69,70)

「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域
提案書 (研究開発プロジェクト) 様式

【様式1】研究開発プロジェクトの要旨
※【様式1】A4 用紙 2ページ(達成目標および構想の概要)で構成し、【提案の概念図】で1ページで、全体構想を分かりやすく説明してください。

プロジェクト名			
所属研究機関	部局		
研究代表者氏名	役職		
キーワード	内訳を欄外に添付キーワードを 3~5個以内 で自由に記載してください。		

【プロジェクトの要旨】

■達成目標

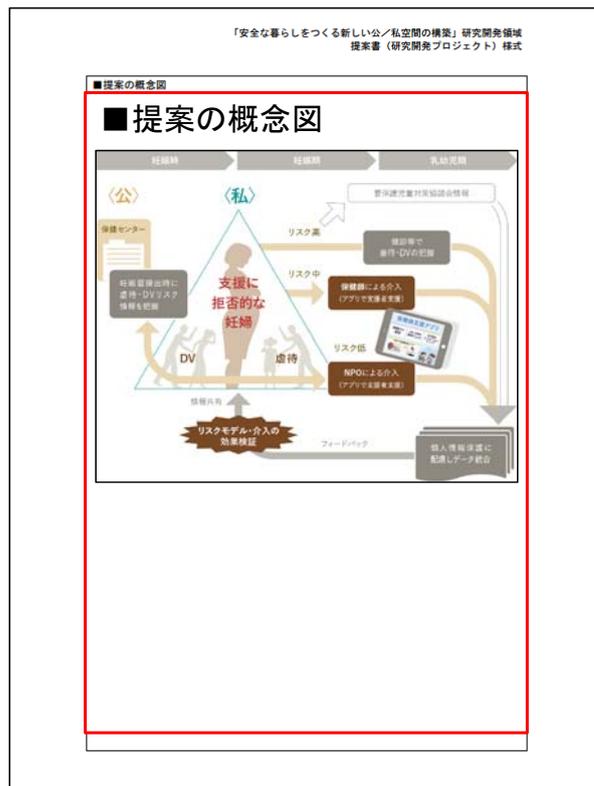
■達成目標
何をめざすプロジェクトか (400字以内)

■構想の概要

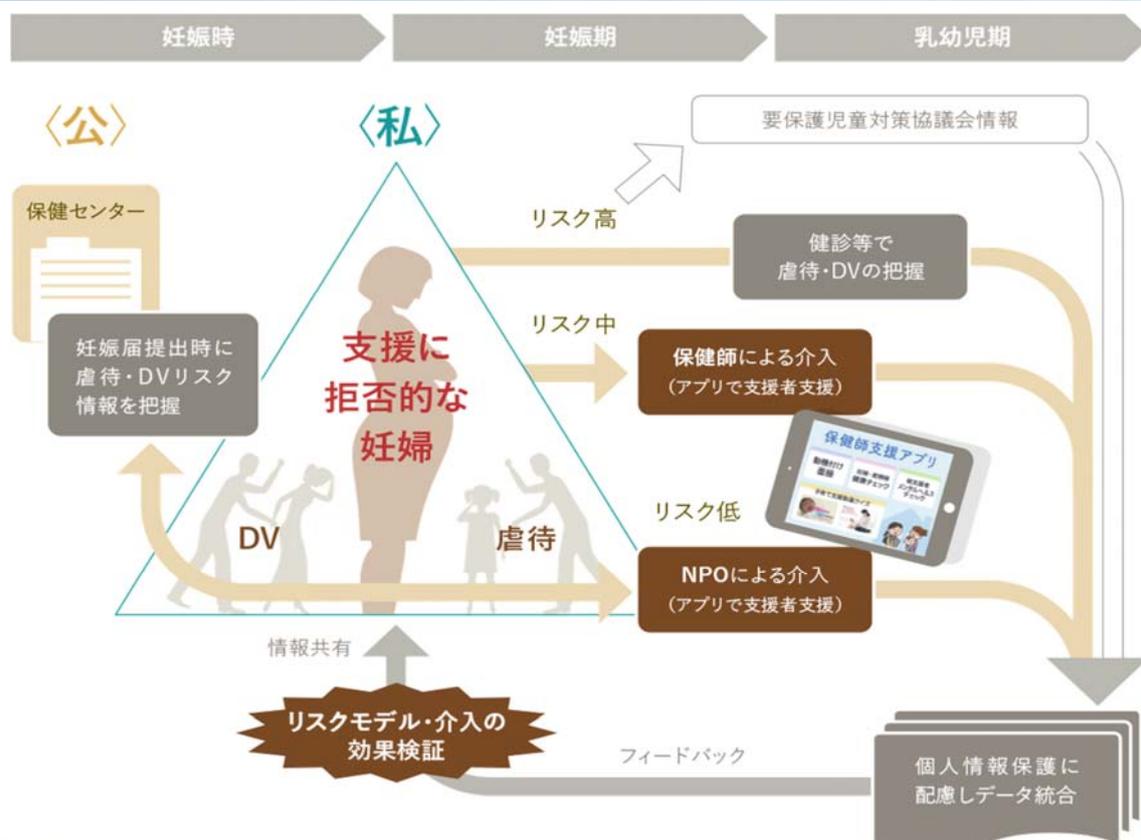
■構想の概要

- ・どのような問題を扱い、どう解決しようとしているのか
- ・背景や成果の **社会実装・普及に向けた展望**

A4・1ページにおさめてください。



【様式1】要旨 (pp.69,70) 提案の概念図(例:藤原PJ)



【様式2】要旨(実施体制) (p.71)

- 【様式2】は、【様式4】実施体制の概要となります。
- 実施体制・役割が簡単に分かるよう、A4・1ページで図示。
 - ✓ グループは1つでも構いませんが、協働体制や各実施者の役割が分かるように工夫してください。
 - ✓ 実施者以外の協力者がいる場合は、協力者との関係も記載。
- 各グループにどのような立場(産学官市民、研究分野)の実施者が属するか、どのような**協働体制**を想定しているのか分かるように記載。

- ・大学等(自然科学系(医学・工学等含む)) → 学(自)
- ・大学等(人文・社会科学系) → 学(人)
- ・大学等(両方にまたがる場合) → 学(自/人)
- ・自治体等の行政機関や司法機関等 → 官
- ・企業等の産業界 → 産
- ・NPO等 → 市民

RISTEXの研究開発では、具体的な問題解決や成果の社会実装を重視しています。そのため、研究者だけでなく、実装に向けた多様な関係者の協働を求めています。



【様式3】構想 全体 (pp.72-75)

- 【様式3】は全体で、A4・10ページ以内。
- 募集要項の次の内容を踏まえて、項目A～Eを記載。
 - ✓ 募集・選考にあたっての領域総括の考え方 (pp.7,8)
 - ✓ 研究開発領域の概要 (pp.9-15)
 - ✓ 選考及び採択 (pp.16-18)
- 評価者が理解しやすいように記載してください。
 - ✓ 必要に応じて図や表も用いてください。
- 次スライド以降に記載した要点を具体的かつ明確に記載するようにしてください。

【様式3】構想 A.必要性とビジョン (p.72)

A-1. 解決すべき問題及びプロジェクトの必要性

- 提案の対象とする**私的な空間・関係性で起きる安全上の解決すべき問題**、具体的な原因やボトルネックは何か。
- **類似の取り組みや政策・施策、研究等では、なぜ問題解決できないのか**。国内外の研究開発やRISTEXの研究開発などの動向とその課題を整理した上でのプロジェクトの意義。

A-2. 目指すビジョン

- プロジェクト終了後も含めた中長期的(～5,10年)な展開・展望。
- どのような成果が、**誰(人・組織等)に活用され**、どのように社会が変容し、安全な暮らしにつながると考えているか。

【様式3】構想 B.具体的な計画 (p.73)

B-1. 目標及び成果

- 研究開発期間内に達成しようとする**具体的な目標・成果**。
 - ✓ 「A. 必要性とビジョン」を受けて、何を、どこまで達成しようとするのかを具体的に記載。
 - ✓ 定量的な目標設定が可能なものについては、可能な限り提示。
 - ✓ 活動や成果物(アウトプット)だけでなく、活動や成果物の結果によるアウトカム(社会への影響・効果)。

B-2. 中間目標

- 「B-1. 目標及び成果」を実現するためのマイルストーンとして、研究期間の上半期(期間が3年であれば1年半)で達成しようとする具体的な中間目標。

【様式3】構想 B.具体的な計画 (p.73)

B-3. 実施内容、マイルストーン

- 「B-1. 目標及び成果」に向けて、誰と、どのような方法で、何をするのか(実施項目)。
- 「B-4. スケジュール」に記載する実施項目の内容や計画、また**実施項目間の関係性**が分かるように記載。
- 各実施項目について、**いつまでに何を達成するのか**、マイルストーン。
- 克服すべき課題や困難が予想される点、それらへの対応策。
 - ✓ ①研究開発、②社会実装の側面からそれぞれ記載
- 関与者からのフィードバックや、研究開発の節目に公表を行う等、外部から適切に意見を集め、検証・改善していく方法。

※実施項目は【様式2】要旨(実施体制)、【様式4】実施体制との整合性を図ってください。

【様式3】構想 B.具体的な計画 (p.74)

B-4. スケジュール

- プロジェクトの主なスケジュールを表で記載。

実施項目は「B-3 . 実施内容、マイルストーン」の内容に従って記載。

<記載例>

実施項目	平成29年度 (H29.10～ H30.3)	平成30年度 (H30.4～H31.3)	平成31年度 (H31.4～H32.3)	平成32年度 (H32.4～ H32.9)
地域の問題点・ニーズの深掘調査	←	←	←	
〇〇モデルの構築	←	←	←	←
データの取得・解析	←	←	←	
〇〇手法の開発		←	←	←
社会実験の実施・検証			←	←
法制度的検討・政策提言			←	←
成果の展開に向けた仕組みづくり	←	←		

縦矢印で、実施項目間のつながりを示す。



【様式3】構想 C.準備状況 (p.74)

C. 準備状況

- 提案者自身のこれまでの研究開発の経緯や実践的な取り組みの成果。
- 実施者間、及び、問題に取り組む関係者との関係性の構築状況。
- その他、予備的な知見やデータ。(なければ記載不要)

p.17「3.選考にあたっての主な評価」では、「h.社会実装可能なフィールドと協力体制が築かれている」を選考の観点として挙げています。



【様式3】構想 D.成果の活用・展開 (p.75)

D-1. 問題解決や成果の社会実装の道筋

- プロジェクト終了後の問題解決や社会実装の見込みについて。
 - ✓ 成果を、誰が、どのように、対象地域や他の地域、組織、制度等へ普及・展開していこうと考えているのか
 - ✓ 広く社会一般に活用できる成果や知見
 - ✓ 取り組みの持続可能性(経済効率、ニーズ等)

【様式3】構想 D.成果の活用・展開 (p.75)

D-2. 成果の波及効果

- 間接的に社会に及ぼす様々な波及効果
- 学術・研究分野への波及効果

D-3. 研究開発領域内での成果の応用(任意)

- 他プロジェクトとの協力・連携関係、補完・支援関係を構築することによる、成果の応用の可能性、領域全体への貢献の可能性についての構想

※ 記載は任意です。

事象の背景や対処策の共通点、対処を阻む共通の制度上の問題、共通の技術活用の可能性など、横断的視点を重視しています。(pp.7,8 ほか)

【様式4】実施体制 (pp.76,77)

2. グループごとの概要

- 研究代表者が率いるグループを「2-1」に記載し、複数グループがある場合は、「2-2」「2-3」・・・と追加。

※ 複数グループがない場合は、「なし」と記載。

(1) 実施項目

- 様式3のB-4「スケジュール」に記載した実施項目の中から記載。

(2) プロジェクトにおける本グループの位置づけ

- 位置づけ、役割、他のグループとの関係性を簡潔に説明。

(3) プロジェクトの実施者

※ 実施者は、複数グループに所属可能

(4) グループへの協力者

- 協力を得ることが了解されている人や団体のみ記載。
- 実施者と協力者との間の、これまでの協力関係の有無を記載。



【様式5・6】関連する取り組みリスト (pp.78,79)

- 1人につき、A4・1ページ。

<主要な実績>

- 研究業績だけでなく、問題解決のための実践的な取り組みに関する成果も記載。
- 提案内容に関連するものを、5件以内。

<RISTEXにおける研究開発への参画経験>

- 領域(プログラム)名、プロジェクト名、研究代表者名を記載し、自身がどのような役割を担っていたのか、簡潔に記載。



【様式7】研究開発費の見込み（p.80）

- 費目別の研究開発費（直接経費）の見込みを年度ごとに記載。
- 特定の費目が総額の50%を超える場合は、その理由を「特記事項」に記載。

※ 面接選考の対象となった場合、機関ごとのものなど、さらに詳細な計画を提出していただきます。

※ 採択後に研究開発費の見直しをお願いすることがあります。

研究開発費の管理は、研究代表者と主たる実施者の責務です（p.21）。提案書段階から研究開発内容にふさわしい研究開発費を積算してください。



【様式8】他制度での助成の有無（pp.82,83）

- 研究代表者及びグループリーダーが現在受けている、あるいは申請中・申請予定の助成等について記載。
 - ✓ 国の競争的資金制度
 - ✓ 民間の助成金 など

※ 記入内容が事実と異なる場合、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※ 面接選考の対象となった場合、最新の他制度の助成状況を提出していただきます。



【様式9】特記事項 (p.84)

- A4・1ページ以内。
- 応募にあたっての理由や希望、その他、様式1～8に記載できなかった内容などを記載。
- 以下に該当する場合は、その旨を記載。
 - ✓ 海外の機関に所属する方が、海外の機関を拠点に実施者として参加される場合。
→ その理由・必要性を記載してください。
 - ✓ 研究代表者が、現在、国内の特定の法人に所属しておらず、採択された場合に国内の法人に所属する予定がある場合。
→ 事情を記載してください。
- 特に記載すべき事項がない場合、空欄で提出。